

週報

令和 6 年 5 月 24 日
2023~2024年度 No.32

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

- ☆点 鐘
- ☆ロータリーソング斉唱
「我らの生業」
- ☆四つのテスト斉唱
- ☆ビジター紹介
- ☆ビジター訪問挨拶
- ☆食事懇談
- ☆会長の時間
- ☆幹事報告

- ☆委員会報告
①親睦委員会
・スマイルボックス報告
- ☆部内卓話
「新会員卓話」
野崎 薫君
- ☆点 鐘

現在会員					30名					前々回の欠席者(4/19)					1名	
本 日	出席	23名	欠席	2名	免除(a)欠席	2名	免除(b)欠席	3名	出席率	92.00%						
	前々回	出席	19名	MU	6名	免除(a)MU	2名	免除(b)MU	2名	修正出席率	96.15%					
月別出席率%		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46					
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39			

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

ビジター

さいたま中央RC 木林 佑亮君

ビジター訪問挨拶

さいたま中央RC
木林 佑亮君



会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。

最近、忍者に関する漫画やネット配信ドラマ等が話題になっているそうです。卓越した情報収集能力と圧倒的な武闘術で、見るものを圧倒する忍者。彼らを題材とした作品は、今でも我々を魅了し続けています。しかし、そんな異能集団はなぜ天下を取れなかったどころか、攻め滅ぼされてしまったのか。という考察を見つけましたので、ご紹介いたします。

忍術を使って活躍した忍者は、卓越した情報収集能力と、圧倒的な武闘術を持っていました。地理にも詳しく、合戦時には最も危険な最前線に真っ先に入り敵情を探るのみならず、陣を構えるのに適切な場所を見つけ、さらに敵陣に潜り込んで放火工作など敵を混乱に陥れる。仲間の絆は強く、自分たちの地域に危機が迫れば固い結束でこれを防ぐ……。能力が高いのに天下を取れない。それどころか伊賀に至っては、攻め滅ぼされてしまった。いったいどうしてなのか？

この異能集団は自ら領土的野心をほとんど持たず、各地の大名（時に室町幕府系列）に雇われては、敵地潜入や破壊工作、情報収集を行っていました。独自の技術やノウハウを持ち、その活躍いかんによって合戦の勝敗に大きな影響を与える「戦国版・ディープテック集団」でもあったので

す。彼らは、かなりの売り上げ（報酬）を得ていたと考えられます。

高い技術力、常に大名に雇われるブランド力、それに見合う高い収益、そして自国を守る“おきて”と、郷土を愛し裏切らないという組織内の高い信頼性、一見すると素晴らしい内容であり、並の大名なら簡単に凌駕されてしまいそうです。しかし、忍者は結局天下を取ることはなく、伊賀は天正9（1581）年、織田信長によって壊滅させられてしまいます。

情報には3つの不思議があるそうです。1つ目は、自身に不利な情報が軽視される不思議。2つ目は、情報を集められるのに生かせない不思議。3つ目は、情報が全体に行き渡らない不思議。この3つは、ある1つの欠陥が原因で起きてしまいます。それはつまり、戦略の欠如であるとの事です。戦略を持っていなかったという事です。

「現状維持の罠」と言い換えても良く、今のままを維持しようという考えでは、長期的な戦略は立てにくくなります。来たる新時代に成長しようと志すから、人も組織も活性化し続け、視野が広がり、洞察は深まっていきます。むしろ、そうしてこそ現状を維持することが出来ます。忍者は、下請に徹することで現状維持の罠にはまり、多くの情報に接しながら対処を誤ってしまったとの事でした。

これらのことから常に先を見据え、尚且つ視野を広く持ち、さらなる成長を目指して向上心を持って物事に対応することが重要なのだと思いました。これらは、現在の私たちにも通じることだと思います。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- 新入会員3名の歓迎会を6月8日（土）、「焼き鳥しん」で19時から行います。内容については、親睦委員会から後ほど連絡があると思います。

【地区関係】

- 長崎出島RC、長崎北東RCより、例会変更・休会のお知らせが届いています。
- 長崎東RCより、例会変更のお知らせが届いています。
- 長崎北東RCより、創立50周年記念式典に出席の御礼状が届いています。

【その他】

- ・福江中央RCより週報26～30号が届いています。

委員会報告

出席報告

- ◆ 5月24日（欠席者メイクアップ）
片山 雅文君 橋本 武敏君
- ◆ 5月24日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 5月24日（免除(b)欠席者）
清瀧 誠司君 佐々野邦久君 吉田 泰之君
- ◆ 5月24日欠席者
坂井 成光君 寺澤 信義君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ さいたま中央RC
木林 佑亮君 本日は、よろしくお願ひします。
- ◇ 野崎 薫君 本日、新会員卓話をさせていただきます。ご清聴よろしくお願ひします。
- ◇ 山下 実君 今まさに次女の赤ちゃんが産まれようとしています。私にとって二人目の孫誕生です。
- ◇ 松岡 孝博君 野崎薫君、本日の新会員卓話よろしくお願ひします。
- ◇ 張本 民雄君 //
- ◇ 神之浦文彦君 //
- ◇ 山下 克己君 //
- ◇ 有川 真史君 //
- ◇ 藤川 博士君 //
- ◇ 宮脇 秀至君 //
- ◇ 市村 篤史君 //
- ◇ 平村 和弘君 さいたまRC 木林佑亮さん、ようこそ福江RCへ。本日はゆっくり楽しんでいって下さい。
- ◇ 山里 一郎君 //
- ◇ 中村 栄治君 //
- ◇ 柳田 靖夫君 //
- ◇ 三村 剛孝君 //
- ◇ 才津 喜彦君 //
- ◇ 西上裕一郎君 //

◇山口 裕之君 //

合計 19,000円
通算合計 588,000円

部内卓話

「新会員卓話」

野崎 薫君



3月に入会させていただきました、野崎薫と申します。吉久木町で「フラワーショップ花の村」という、花屋をやっております。

10年前まではアーケードの端っこでやっており、私の結婚を機に吉久木町に移転しました。親の代から受け継いで、現在36年目です。福江では2番目に古い花屋となっております。

父と母が「花の村」を始めたのですが、もともと「花の村」はその前からあったみたいです。詳しい成り行きはわかりませんが、ずっと花が好きで花屋をやりたいかかった母と、全く花の事なんて知識ゼロだった父のもとに、花屋をやらないかと言う話が舞い込み、暖簾分けという形で新生「花の村」が誕生したと聞いております。

楽器屋の父と、看護師だった母が脱サラして花屋を始めた度胸と覚悟は、息子の私からすると尊敬に値すると思っております。

私は、1984年9月30日生まれの39歳。小さい頃は、よく食べ、よく寝て、それはそれは大きな身体でした。保育園・小学校時代は、ピチピチの短パンがトレードマークのぼっちゃり男子。毎日、学校から帰ってきては父から100円もらって駄菓子屋に走っていくのがルーティンでした。おそらく、その駄菓子屋では私が1番の常連客だったと思います。それと、もう一つの楽しみがゲームでした。今は残念ながらもなくなりましたが、ショッパーズのゲームセンターです。週4で通ってました。

中学時代になると、野球部に入り汗を流していました。夏休みの練習がすごく地獄すぎて、何度

も諦めようと思いました。本当は女の子にモテそうなサッカー部に入ればよかったと、今でも思っております。

サッカー部といいますと、同じくロータリークラブに入会した五島を代表するジャニーズ顔のイケメン。市村篤志先輩がいます。市村先輩からは沢山の事を教えて頂いたのですが、ほとんどが悪い事ばかりでした。詳しい事は市村先輩の株を落としてはいけないので、伏せておきます。その節は、ありがとうございます。かなり荒れた福中でしたが、今では良い思い出です。

高校は五島高校に進学しました。高校進学で何より嬉しかった事は、中学時代の坊主頭を卒業できた事です。どうして昔は、中学生だけ坊主だったのでしょうか。疑問で仕方ありません。坊主が似合わない私は、とてもコンプレックスでした。その反動で、髪を伸ばしてパーマをかけてイキがった時代が懐かしく思います。

高校卒業後は、北九州の大学に進学しました。私が選んだのは偏差値ランキング表で1番下にあった学校です。なんと、センター試験で合格したのですが、それと同時に200点満点中16点しか取れなかった国語で受かるのか？と不思議に思っていました。

大学4年間は人生で1番遊んでいました。DJをやっていた私はレコード集めが趣味になり、レコ屋とクラブでは毎週のように遊んでいました。

競馬やパチンコでお金がなくなり、ご飯も食べられない事も多々ありました。そんな時は友達がバイトしていたコンビニに行き、本当はダメな事ですが廃棄のお弁当をもらって凌いでいました。大学で学んだ事は、全くといっていいほど何もありませんが、今でも仲良くしてる友達に会えた事がとても良かったと思います。

大学3年生で周りの人はみんな就職活動をやっている中、実家の花屋をやるかどうかずっと悩んでいました。しかし、考えると妹2人はそれぞれの自分の道があったので、自分しか継ぐ奴はいないと思い決心しました。卒業後、23歳から25歳までの2年間、北九州市若松区にある株式会社若松花のチモトという花屋に修行に行きました。花屋人生の始まりです。

なんとなく小さい頃から実家を見てたので、花業界は余裕やろと頭にあったのですが、想像してた100倍キツくて何度も挫折しそうになりました。特に、朝3時に起きて市場に行き、セリをする。これが若い私にとっては地獄でしかありませんでした。

スポーツでも大会があるように、花業界でもフラワーコンテストがあります。大きい所では世界大会もある程です。私の師匠は全国大会の常連組で、成績の累積ポイントがあり4年に1度のグラウンドチャンピオンシップの10名に選ばれてました。

私に関しては、1年目で福岡の大会（通称、福花蓮）で5位入賞、九州大会（通称、九花蓮）では、120名ほどのフローリストの中から予選突破してファイナリストになりました。2年目でも1年目と同じ結果で、悔しかった思い出があります。その時優勝した方は、日本代表として世界大会に行ったり、有名な所ではめざましテレビの装花なども手掛けており、今では遠い存在となってしまいました。

そんな経験を経て、25歳で五島に戻ってきます。帰ってきて10ヶ月後、突然の父の死。53歳の若さで亡くなった訳ですが、花屋として成長できた姿を少しでも見せれたのは、とても嬉しく思います。花は生もので、日々価格も変動しております。高い時もあれば低い時もあります。

しかし、父は絶対に譲れないものがありました。いくら仕入単価が高くても、最上級の物を買う。花はランク分けされており、品質と価格は比例します。父は生前、ずっと口にしていました。

〔花は長持ちすれば、それだけでお客さんは満足する。お花の回転は考えるな！良い花を買え〕

その教えは、今も私は譲れない所として続けております。

五島の花屋の仕入れ先は長崎の仲卸から買う為、セリができません。率直に言うと、仲卸の言い値でしか買えません。私はそこが不満で、今では東京の大田市場に次ぐ、大阪の鶴見花市場で仕入れるようになりました。セリも出来て、九州で買うより安く、且つ高品質のお花の供給が小さい島でも可能になりました。SNSのInstagramもフォロワーが2,000人を超え、毎日忙しくさせて頂き嬉しく思います。

五島に帰ってきて15年。奇跡的に結婚もでき、2人の男の子にも恵まれました。妻のお陰で、私のクレジットカードのリボ払いの借金も見つけてくれました。一時期、リボ払いの闇が全国ニュースにもなっていました。この時は、本当に結婚して良かったと思いました。子供も小学4年生と1年生で、毎日楽しく過ごしております。

私の夢は、花で世界を平和にする事。現在進行形で紛争やさまざまな事件、事故が世界中で起こっています。綺麗事かもしれませんが、人々が毎日笑顔で過ごせば、必然的に平和になると思ってお

ります。ですので、これからも花という命と向き
合い、皆さまを笑顔にしたいと思っております。

最初の卓話で大先輩を前に凄く緊張しました。
これからもよろしくお願い致します。ご清聴あり
がとうございました。